

東北文教大学・東北文教大学短期大学部 図書館報

発行 東北文教大学・東北文教大学短期大学部附属図書館 〒990-2316 山形市片谷地515 ☎023-688-7544

目次

- 学生に期待するレポート…………… 1
- 私のおすすめ本…………… 3
- 平成23年度 図書館報告 …… 4

学生に期待するレポート

附属図書館長 畠山孝男

学生諸君は、演習の授業や実習終了後、あるいは学期末の成績評価など様々な機会に、レポートを課されることが多い。しかし、どのようにレポートを書けばよいかについては、案外指導がなされることが少ないかもしれない。教員からすれば、レポート作成はあまりにも自明のことと思われるからである。しかし学生が自己流で書いたレポートは、期待と大きくかけ離れたものになることも多い。レポート作成は学生が能力を向上させる大事な機会であるだけに、それではもったいない。

本稿では、私が学生に期待するレポートの書き方について提示して、学生諸君の一つの目安にしてもらえればと思う。なお、私の専門分野は心理学である。心理学は心の働きという文系的な問題を実証科学として理系的に研究する学問なので、文系・理系両方の要素を併せ持っている。以下はその教育・研究の中で得た私のレポート像なので、文系、理系どちらにも広く通用すると思う。

1. レポートとは

レポートとは何だろうか。私たちは小学校から高校まで、作文や感想文をたくさん書いてきた。作文や感想文では自分の気持ち（思いや考え）を書けばよかったのだが、思いや考えを書くだけではレポートにならない。また、調べて発表することもたくさんしてきたが、調べてわかったことを書くだけでもレポートにならない。

大学では**学問**を教えることを通して学生の能力の向上を図っている。学問は「学」んで「問」う営みである。レポートではまずもって、学んだことを通して「問い」を立てること、そしてその上で、その問いに対して自分の答えを出してみることが期待されている。テーマを設定し（問題を立てる）、それについて考察し、論じ、主張する（自分なりの答えを出す）のがレポートである。

答えの出し方が独りよがりであってはならない。**公共性**を持たせる必要がある。そのためには、根拠と論理が必要となる。**根拠**としては、観察、調査（アンケートや面接）、検査、実験、事例、文献が挙げられるが、学生諸君は文献の活用が多くなるはずである。**論理**はレポートに筋道を通すことである。組み立てをよく考える必要がある。書きたい項目をいくつか（あるいはたくさん）挙げて、取捨選択し、説得力が出るように配列するのである。

教員がレポートを課す理由は、授業の内容が学生にどの程度、どのように身に付いているかを評価するためである。授業で扱っていない内容をテーマにしたレポートを目にすることがよくあるが、評価ができないことを学生諸君は知っておいてほしい。教員が求めているのは、授業内容を本当にわかり、その知識を自分なりに使えるようになることなのである。私の場合は、学生が授業内容を個性的に料理してくれることを、期待している。

2. レポートの構成

レポートは序論、本論、結論、文献の四部構成となる。

序論ではテーマを設定し（問題）、なぜ（動機、理由）、どんなやり方で取り上げるか（方法）を述べる。序論は後で書き直すとか、最後にもう一度書くことも多い。その理由の一つは、書いてみて初めて自分の問題意識がはっきりすることも多いためである。もう一つは、レポート全体でつじつまを合わせなければならないためである。序論の問題意識と最後の結論が対応していなければならないのである。なお、序論には生き方、人生観、価値観が反映することになる。問題の立て方の中に、その人の価値意識が表れるのである。

本論では、根拠を踏まえながら、考察や主張を展開す

る。問いに対して根拠を挙げて暫定的に答えを出し、次の根拠を挙げて答えを出すという過程を繰り返しながら、最終的な答えを目指すのである。

本論では問いに対する答えのセットが段落を構成する。その問いについて複数の根拠があるときは、根拠ごとに段落にしてもよい。段落のないレポートを目にすることがよくあるが、それはあらかじめ組み立てもないまま、勢いで書いたことを表している。一つの段落で一つのこと(考え)を表現するわけなので、組み立てをきちんと考えなければならない。なお、段落は200～400字程度(5～10行)を目安にすると読みやすい。

結論では、考察や主張をまとめて、問題に対して自分なりの答えを提示する。ここでは、新しいことを述べたり新しい議論をしないことに留意したい。学生のレポートには、「結論」とか「まとめ」という見出しの記述の中に、本論では述べられていない内容や考えが登場することがよくあるが、新たな議論の記述は本論に移さなければならない。ただし、残された問題や未解決の(今後の)課題を、結論の後に付け加えることはできる。

文献では、引用した文献の一覧を記載する。文献が引用されていない場合は、文献欄は不要である。

3. 見出し

「序論」「本論」「結論」という見出しは、大げさすぎてふさわしくないで、「1. はじめに」「2. ○○○」「3. △△△」「4. □□□」「5. まとめ」というようにするとよい(「」は不要)。あるいはごく短いレポートであれば、見出しを付けなくて、見出しに当たる箇所を1行あけるだけでもよい。

4. テーマの設定

一番重要なのがテーマの設定、つまり**問題**を見つけることである。自分は何について問いを立てて答えを出そうとするのか、よくよく考えてみなければならない。高校までは教員が問題を出して生徒が答えてきた。大学では自分で問題を出し、自分で答えを出してみることが要求される。立場の転換である。世の中は問題が満ちている。それぞれの職域で、先に立って日々問題を見つけ、問題解決に当たるのが、学生諸君の卒業後の仕事である。大学は学問を通して、つまり学問のレベルで、そうした訓練をしているのである。

問題を立てる際、問題を絞ることが大事である。よく「○○○について」というような漠然とした題目のレポートを目にすることがある。論ずる範囲が限定されていないため、答えを出すことができないので、わけのわからないレポートになってしまう。何を問題としたいのかがわかるように**題目**を書く必要がある。実践的職業人をめざすであろう学生の立場からすると、問題を疑問形で提示するのも効果的である。「○○の△△を□□するにはどうするか」というように(「」は不要)。

なお、教員からテーマが与えられる場合でも、「○○○について」のように漠然とした形のことが多いと思われる。書き手に自由度が与えられていて、自分なりにテーマをとらえ直すことが期待されているためである。だからテーマが与えられている場合でも、自分なりに

絞った設問にするとよい。それを**副題**にすれば、問題の焦点がくっきりして書きやすくなるだろう。副題はダッシュ(少し長めの横棒)でくくるとよい。

5. 出典

出典を明示して、他者の考えや意見と自分のそれとを区別して書くことが重要である。出典を明示しないで書くと、パクリ、つまり**剽窃**(ひょうせつ)、**盗用**ということになるので、十分気をつけたい。出典の明示があっても、長い引き写しは厳禁である。

本文中での引用の仕方は次のようになる。

フロム(1991)は「…」(p.○)と述べている。

【そっくり引用する場合。せいぜい数行以内】
中澤(2011)によれば…である(p.○)。

【要約して引用する場合】
進藤・麻柄(2011)は…を指摘している。

【著者が複数の場合】
レポートの最後に文献名をまとめて記載する。その際、引用していない文献は載せないことである。見出しを「参考文献」として多くの文献を挙げているケースがあるが、どれをどんなふうに参加にしたのか全く不明なので、評価ができない。集めただけで見えていないかもしれないし、どこから抜き書きしただけかもしれない。

文献欄の書き方は、以下の例にならうとよい。一つの文献が複数行にわたるときは、1行目を右端まで書いて、2行目以下を2字程度下げて書く。特に指示がなければ、著者名のアルファベット順に配列するとよい。

引用文献

フロム, E. (1991). 愛するということ 紀伊國屋書店
【エーリッヒ・フロムはフロムが苗字】

勝浦範子 (2008). 遊び場、遊び仲間を失った男の子の育ち—女性的価値観が支配する中で— 児童心理, 62(4), 17-22. 【雑誌の巻と号を記載する場合】
文部科学省初等中等教育局児童生徒課 (2007). 教育相談等に関するアンケートの実施について 文部科学省 2007年9月6日 < http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/seitoshidou/kyouiku/houkoku/07082310.htm > (2008年11月22日)

【インターネット資料】
中澤潤 (2011). 幼児期 無藤隆・子安増生(編) 発達心理学 I 東京大学出版会 pp.219-262.

【編集書の中の一つの章】
進藤聡彦・麻柄啓一 (2011). 面積比の理解に及ぼす操作結果の実体化の効果 教育心理学研究, 59, 320-329. 【雑誌の巻ないしは号を記載する場合】

インターネット資料も、上記のように文献欄に記載して、本文中でも他の出典と同じように扱う。次の事項を記載する：著者名(あるいは機関名)、年号、資料題名、サイト名、アップデート日、URL、アクセスした日。

インターネット資料には過度に依存しないことである。著者やサイトの運営主体が信頼のおける研究者や専門家、機関でなければならないことも、念頭に置きたい。なお、CiNii(サイニイ)等で閲覧し引用した文献は、インターネット資料としてではなく、雑誌論文として表記する。

(子ども教育学科教授)

図書館学生アルバイトの「私のおすすめ本」

現在図書館には、4人の学生アルバイトがおり、貸出返却などのカウンター業務をはじめ、さまざまな仕事にあっています。

アルバイトの皆さんから「おすすめ本」を紹介してもらいました。

佐藤沙由美（子ども教育学科2年）

「別冊『文藝春秋』300号」 文藝春秋社 2012.7

この本は、おなじみの有川浩さんや、宮部みゆきさん、湊かなえさんなど、有名作家さんたちの、連載や読み切り、エッセイなどが楽しめる本です。2か月に1回、奇数月に発行される本なので、内容が充実しています。

おすすめの読み方は、目次を開いて自分の好きな作家さんや、気になったタイトルから読んでいく読み方です。連載の作品でも、前回までのあらすじが書いてあるので、途中からでも楽しむことができます。

また、今回の300号に限っておすすめする作品は、貴志祐介さんの『罪人の選択』、宮部みゆきさんの『小雪舞う日の怪談物語り』、白石玄さんの『プタに吞まれて』、エッセイでは、酒井順子さんの『女を観る歌舞伎』などです。

1冊で様々な作品が楽しめ、アルバムを開いているような気持ちになれる、すてきな本です。ぜひ読んでみてください。



中丸茉祐（子ども教育学科1年）

「チーム・バチスタの栄光」 海堂 尊 著 宝島社 2006.2

この本は第4回『このミステリーがすごい!』大賞を受賞し、320万部を超えるベストセラー作品です。

東城大学医学部附属病院で心臓移植の代替医療であるバチスタ手術を専門に行う「チーム・バチスタ」は、手術成功率100%という驚異の成功を収めていたが、3例立て続けに謎の術中死に遭遇。病院長令で調査をすることになった主人公田口公平と、協力することになった厚生労働省の役人白鳥圭輔が、犯人をつきとめる話です。

すでに映画化、ドラマ化されていますが、それぞれ結末が違うので楽しめると思います。この本の他にも「田口・白鳥コンビ」の登場する本がたくさんあり、ストーリーもつながっています。医療についてだけでなく、司法や警察との関係なども分かりやすく説明されており、勉強になります。ぜひ一度読んでみてください。



松岡千里（子ども教育学科1年）

「ディスコ探偵水曜日」 舞城王太郎 著 新潮社 2008.7

「ジャスト・ファクトツ!」——タイトルに「探偵」とあるし、今はやりのライトな探偵モノか?とキャッチーな表紙絵に騙されて開いてみれば、哲学、SF、エログロナンセンス、そのくせミステリーとしても数々の謎が読者と主人公たちに投げかけられていて、これでもかと言わんばかりの勢いで進むストーリーに圧倒される1冊です。

主人公のディスコ・ウェンズデイは、迷子探し専門探偵の仕事で保護した6歳の少女・梢の体が、急に成長してはいつの間にか戻るといふ謎の現象に直面し、その解決のヒントがバインハウスにあると聞かす、そこでは推理作家や探偵たちの連続怪死事件が起きていて、当の梢の体には謎の魂泥棒パンダラヴァーの被害者の少女の魂が居座って…と、あらすじで説明してもいまいち呑み込めないかも知れませんが、主人公の純粋さと物語の壮大さを楽しんで読んでみてください。



畠中萌子（総合文化学科1年）

「阪急電車」 有川 浩 著 幻冬舎 2008.1

私がおすすめる作品は『阪急電車』です。この作品は兵庫県にある西宮北口駅から宝塚駅間のわずか8つの駅を通るローカル線を舞台にした作品で、その電車を利用する乗客の様々なエピソードが物語となっている作品です。

各駅往復2話、16の物語があり、恋愛関係の話や祖母と孫の話、また複雑な人間関係を描いた話など様々あり、老若男女を問わず読める作品だと思います。

この作品は数年前に中谷美紀、戸田恵梨香などが出演し映画化されました。私は小説より映画を先に見たのですが、どちらも感動的で、楽しみつつも人間関係など勉強になる部分もありました。どちらからでも楽しめる作品だと思います。

この本は図書館に置いてあるし、作者の他の本もたくさんあるので、ぜひ一度読んでみてください。



平成23年度 図書館報告

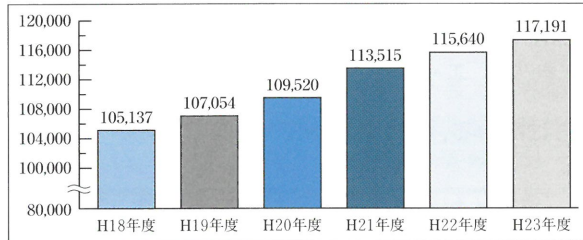
(東北文教大学・東北文教大学短期大学部)

資料収集

図 書	1, 5 6 8 冊
学術雑誌	8 6 種
新 聞	1 7 種
紀 要	5 1 6 冊
A V 資料	1 2 3 点

蔵書数の推移

(年度末: 冊)



利用状況

年間入館者数

(人)

年度	年間入館者数 (人)
平成19年度	48, 673
平成20年度	54, 384
平成21年度	53, 487
平成22年度	54, 256
平成23年度	35, 270

年間館外貸出冊数

(冊)

年度	年間館外貸出冊数 (冊)
平成19年度	7, 355
平成20年度	6, 332
平成21年度	6, 163
平成22年度	4, 034
平成23年度	4, 529

1人当たりの年間貸出冊数

(冊)

年度	1人当たりの年間貸出冊数 (冊)
平成19年度	9
平成20年度	9
平成21年度	9
平成22年度	9
平成23年度	13

1日平均貸出冊数

(冊)

年度	1日平均貸出冊数 (冊)
平成19年度	30
平成20年度	25
平成21年度	24
平成22年度	28
平成23年度	28

年間ビデオ・DVD貸出 (館内)

(点)

年度	年間ビデオ・DVD貸出 (館内) (点)
平成19年度	748
平成20年度	414
平成21年度	533
平成22年度	560
平成23年度	507

貸出資料ランキング

< 図 書 >

書 名	著者名	貸出回数
1 アメリカの小学生が学ぶ歴史教科書	ジェームズ・M・バーダーマン/編	70
2 ビジネス実務マナー検定実用問題集3級	実務技能検定協会/編	54
3 学校の挑戦: 学びの共同体を創る	佐藤学/著	31
4 アメリカ黒人の歴史	本田創造/著	29
5 みんなのパネルシアター	阿部恵/著	26
5 夜と霧	ヴィクトル・E・フランクル/著	26
7 ふれあいいっぱいパネルシアターこれくしょん	阿部恵/著	25
8 くれよんのくろくん	なかやみわ/著	23
9 保育いきいきパネルシアター	松家まきこ/著	20
9 心がはずむどんどんパネルシアター	阿部恵/著	20
11 保育所保育指針解説書	厚生労働省	18
11 阿部直美のふれあい手あそび歌あそび101	阿部直美/著	18
11 手あそび歌あそび: DVD: ピアノ伴奏譜つき	小泉八重子/監修	18
14 使える! 保育のあそびネタ集	井上明美/編著	17
15 幼稚園教育要領	文部科学省 [編]	16
15 漢検過去問題集2級	日本漢字教育振興会/編	16
15 阪急電車	有川浩/著	16
18 フィンランドという生き方	目覚ゆみ/著	15
19 コスプレする社会: サブカルチャーの身体文化	成実弘至/編	14
19 神様のカルテ	夏川草介/著	14
19 競争しても学力行き止まり	福田誠治/著	14
19 もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの『マネジメント』を読んだら	岩崎夏海/著	14
23 私のワンピース	にしきまかやこ/えとぶん	13
23 幼稚園教育要領解説書	文部科学省 [編]	13
23 こどもが夢中! 保育のあそび展開アイデア集	井上明美/編著	13
23 教育・保育実習安心ガイド	阿部恵、鈴木みゆき/編著	13
23 パネルシアターどうぞのいす	阿部恵/編著	13
28 THE手あそび・歌あそびBEST50+1	内尾眞子/編著	12
28 製作あそび百科	竹井史/著	12
28 性格心理学	清水弘司/監修	12
28 植物図鑑	有川浩/著	12
28 保育に役立つあそびのネタブック	井上明美/編著	12
28 保育実習まるごとガイド	寺田清美/監修	12
28 麒麟の翼	東野圭吾/著	12
35 たのしい手あそびうた	阿部恵/編著	11

学生からの主なリクエスト

< 図 書 >

謎解きはディナーのあとで	東川篤哉/著	十字軍物語2	塩野七生/著
謎解きはディナーのあとで2	東川篤哉/著	フェルトで作るかわいい	高橋ひとみ/編
時平の桜 菅公の梅	奥山景布子/著	つるし飾り	浅野典夫/著
傷物語	西尾維新/著	ものがたり宗教史	V.G.ネッケル/編
化物語 上	西尾維新/著	エッダ: 古代北欧歌謡集	K.ハストロフ/編
化物語 下	西尾維新/著	北欧の世界観	池内紀/著
鬼物語	西尾維新/著	悪魔の話	マリー・コラ
空の虬	西尾維新/著	うちゅう	早川純子/文
中原の虬 1	浅田次郎/著	どんぐりロケット	早川純子/作
中原の虬 2	浅田次郎/著	おしりのサーカス	さかさきちはる
中原の虬 3	浅田次郎/著	スティープ・ジョブス 上	ウォルター・アイザックソン/著
中原の虬 4	浅田次郎/著	スティープ・ジョブス 下	ウォルター・アイザックソン/著
これだけは知っておきたい0~5歳児の食育	岡崎光子/監修	日中同形異義語1500	郭明輝/編
放課後はミステリーとともに	東川篤哉/著	日中同形異義語辞典	王永全/編
珍妃の井戸	浅田次郎/著	モナミは世界を終わらせる?	はやみねかおる
なぜ宗教は平和を妨げるのか「正義」「大儀」の名の下で	町田宗鳳/著	会津戦争全史	星亮一/編
フイトノベル最強! ブックガイド少年系	榎本秋/著	北の舞姫	須賀しのぶ/著
ライトノベルデータベース	榎本秋/著	マンガはなぜ規制されるのか	長岡善幸/著
空の街	有川浩/著	神様 2011	川上弘美/著
海の底	有川浩/著	風評被害	関谷直也/著
クジラの彼	有川浩/著	十万暮の町	沢村敏/著
ラブコメ今昔	有川浩/著	ガリレオの苦悩	東野圭吾/著
日本語の発音教室	田中真一/著	女子学生会長マッカーサー大作戦	初田景都/著
煙か土か食物	舞城王太郎/著	大盗	玖村まなみ/著
プリンセス・トヨトミ	万城目学/著	盗案オンサイト	
傾物語	西尾維新/著		
コスプレする社会	成実弘至/著		
コスプレヤー in パリ	安田知子/著		
花物語	西尾維新/著		
RDG はじめてのお使い	荻原規子/著		
RDG はじめてのお化衆	荻原規子/著		
RDG 3 夏休みの過ごしかた	荻原規子/著		
RDG 4 世界遺産の少女	荻原規子/著		
RDG 5 学園の一番長い日	荻原規子/著		
北欧神話の世界	アクセル・オリック/著		
生と死の北欧神話	水野知昭/著		
アンパンマンと元気な仲間たち	瀬戸信昭/編		

< DVD >

うさぎドロップ	SABU/監督
ハリポッターと死の秘宝	ディビット・イエーツ/監督
グーニーズ	リチャード・ドナー/監督
ブラック・スワン	ダレイン・アロフスキー/監督
サウンド・オブ・ミュージック	ロバート・ワイズ/監督
メリーポピンズ	ロバート・ステイアンソン/監督
アンダルシア	西谷弘/監督